

公開講座

教材開発

受託研修

コンサル  
テーション

出版

研究会

共に生きる社会の  
創造をめざして

## 2018-2019 プログラムガイド PROGRAM GUIDE

### 私たちのミッション

ラボラトリー方式の体験学習を通して

- ◎ かかわり合いの中でお互いが成長できる社会
  - ◎ 違いを認め、違いを活かし合う社会
  - ◎ 自分たちの力で変えていけると実感できる社会
- を創造します



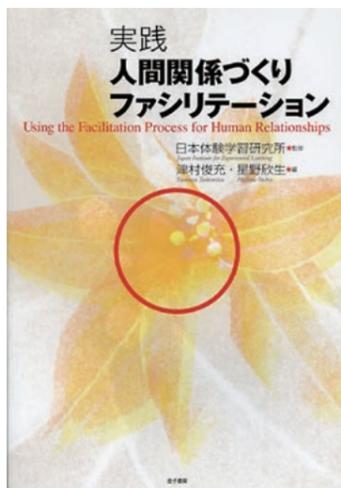
一般社団法人 日本体験学習研究所





## 人間関係づくり基礎講座（12講）～人間関係づくりの基礎を体験しながら学ぶ～

「体験から学ぶ」ことの入門講座として「実践 人間関係づくりファシリテーション（金子書房）」をテキストにし、各章の内容を紹介し、ボラトリー方式の体験学習を楽しみながら学んでいただく講座です。  
体験学習が初めての方から体験学習を実施しているファシリテーターの方までご参加いただけます。

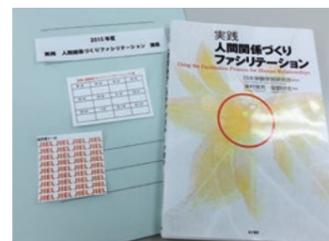


### 実践 人間関係づくりファシリテーション

監修 津村俊充 星野欣生 編 金子書房  
B5判並製 192頁  
定価 本体 2,300円 + 税  
発行 2013年12月27日  
ISBN 978-4-7608-2647-6 C3011

本書は、人間関係づくりトレーニングの実践において10のテーマをとりあげ、学習者とともに学ぶファシリテーターの実践を紹介しています。座学として学ぶだけではなく、体験を通してともに学べるように、楽しいエクササイズを紹介しながら、学校や職場、地域やコミュニティの領域まで人間関係づくりの可能性を紹介しています。本講座は、第2章から始まります。最終回に、第1章と第12章の紹介講座があり、人間関係づくりファシリテーションの人間観と教育プログラムづくりを扱います。どの章からでも参加可能です。12講をお楽しみください。

<目次>	第2章 「場をつくる」 気持ちのわちあいが安心の場をつくる	第9章 「ふりかえる」 体験をふりかえることで学びになる
	第3章 「ひらく」 語ること・聴くことからかわりはひらく	第8章 「働きかける」 プロセスに働きかける
	第4章 「観る」 今ここのプロセスをありのままに観る	第10章 「共に成長する」 かわりを通して共に成長する
	第5章 「気づく」 気づきより新しい私に出会う	第11章 「つながる」 対話がつながりを創り出す
	第6章 「受け容れる」 受け容れることからかわりが変わる	第1章 「ファシリテーションの人間観」 ファシリテーションは人をどうみているか
	第7章 「決める」 私が決めることは生きる責任をもつこと	第12章 「教育プログラムをつくる」 プログラムデザイナーとしてのファシリテーター



※各回参加シールをお渡ししています。参加者の皆様にはシールコレクションを楽しんでいただいています。全コース終了後、実践人間関係づくりファシリテーション12講の修了証をお渡します。

会場	いずれの回も ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
定員	いずれの回も12名
参加費	各章 3,780円(税込) 午前・午後通しでご参加の場合には、6,480円(税込)となります。

### 第2章 「場をつくる」

～気持ちのわちあいが安心の場をつくる～

一人ひとりが自由に発言・行動できる雰囲気「場をつくる」過程において、どのような働きかけや配慮が必要かを共に学び合っていきましょう。

日程	2018年10月28日(日) 10:00～13:00
担当者	岸田美穂・津村俊充

### 第4章 「観る」

～今ここのプロセスをありのままに観る～

参加者グループの中で、ワークをする人とオブザーブする人に分かれ、オブザーバー役はそこで“起こっている”ことを丁寧に観る体験を通して、観る視点やスキルを学びます。

日程	2018年11月3日(土) 10:00～13:00
担当者	林 芳孝・鈴木由子

### 第6章 「受け容れる」

～受け容れることからかわりが変わる～

グループワーク体験を通して、「受け容れる」ことからどのような影響関係が生まれ、課題達成に向けていかに働きかけることができたかをふりかえり、学びます。

日程	2018年11月4日(日) 10:00～13:00
担当者	岸田美穂・杉山郁子

### 第9章 「ふりかえる」

～体験をふりかえることで学びになる～

「ふりかえり」とは、体験学習の循環過程の中で、「体験」後の「指摘」、「分析」、「仮説化」にあてはまりますが、それらの体験を2回の実習を通して丁寧に取り組んでいきます。

日程	2018年11月17日(土) 10:00～13:00
担当者	林 芳孝・鈴木由子

### 第10章 「共に成長する」

～かわりを通して共に成長する～

お互いの成長にどのようにかわれるのかを意識しながら実習に取り組み、共に学び合う場づくりや自分や他者が成長していくために大切なことを参加者の方と一緒に考えます。

日程	2018年11月18日(日) 10:00～13:00
担当者	岸田美穂・岡田衣津子

### 第1章 「ファシリテーションの人間観」

～ファシリテーションは人をどうみているか～

ファシリテーター役とオブザーバー役を決めて、グループ実習体験をし、参加者、ファシリテーター役、オブザーバー役それぞれのふりかえり・分かち合いを通してファシリテーターについて学びます。

日程	2018年12月2日(日) 10:00～13:00
担当者	林 芳孝・津村俊充

### 第3章 「ひらく」

～語ること・聴くことからかわりはひらく～

AI(アプリシエイティブ・インクワイアリー)の紹介とハイポイントインタビューを通して、かわりが深まる体験、心がひらくかわりの体験が実現されることを願っています。

日程	2018年10月28日(日) 14:00～17:00
担当者	津村俊充・岸田美穂

### 第5章 「気づく」

～気づきより新しい私に出会う～

自分自身のものの見方やとらえ方への気づきを深めるために、「ジョハリの窓」のモデルを活用した実習「私の心の窓」を体験しながら、「自己開示」と「フィードバック」を学びます。

日程	2018年11月3日(土) 14:00～17:00
担当者	鈴木由子・林 芳孝

### 第7章 「決める」

～私が決めることは生きる責任をもつこと～

テキストで紹介されているグループ実習を体験し、自分やグループはどのように意思決定をしているか、そのことがメンバーやグループにどのように影響しているかを学びます。

日程	2018年11月4日(日) 14:00～17:00
担当者	杉山郁子・岸田美穂

### 第8章 「働きかける」

～プロセスに働きかける～

「グループプロセス」という視点を知っていただき、グループが課題を達成しながら、どのように「プロセス」に働きかければよいかを共に学び、考えていきたいと思います。

日程	2018年11月17日(土) 14:00～17:00
担当者	鈴木由子・林 芳孝

### 第11章 「つながる」

～対話がつながりを創り出す～

まちの公園づくりをテーマに話しながら、一人ひとりの違いを豊かさとして受け容れ、それぞれの思いを生かし合うことができるか、真の民主主義とはどういうものかを参加者と共に考えます。

日程	2018年11月18日(日) 14:00～17:00
担当者	岡田衣津子・岸田美穂

### 第12章 「教育プログラムをつくる」

～プログラムデザイナーとしてのファシリテーター～

参加者がグループになって「教育プログラムをデザインする際に大切なこと」を話し合い、発表し合うことを通して、プログラムデザインに共通の要素と大切な視点を学びます。

日程	2018年12月2日(日) 14:00～17:00
担当者	津村俊充・林 芳孝

コア・プログラム講座

Tグループ (人間関係トレーニング)

わたしたちはグループや組織の中で生きています。それは家族であったり、会社や学校といった職場であったり、プライベートな仲間同士、地域の人たちとのつながりであったりします。“わたし”とは違うさまざまな人たちが集まって、その組織が成り立っています。違いがあるのはわかっていますが、その違いで悩んだり、苦しんだり、人を責めたりします。その違いを認め、活かし合い、互いの尊厳を大切に、信頼関係を築きあげることができたら、わたしたち一人ひとり、そしてわたしたちが生きるこの社会はより幸せなものになるのではないのでしょうか。

Tグループ (Tはトレーニングの略) とは、1947年から始まった、人間理解やリーダーシップなど相互にどのように影響し合っているかなどを“今ここ”での体験を通して探求し、参加者一人ひとりのありようやグループダイナミクスを理解し、リーダーシップを発揮することなどを学ぶプログラムです。ラボラトリー・トレーニングとか、ラボラトリー方式の体験学習と呼ばれるのは、1947年にスタートしたTグループが、「Human Interaction Laboratory In Group Dynamics」と呼ばれたことによります。

Tグループは、狭義にはTグループ・セッションをさします。広義には、参加者全員とスタッフを含めたラーニング・コミュニティで学ぶ宿泊研修すべてのプログラム総体をTグループとよんでいます。広義の合宿形式のTグループ・プログラムは、伝統的に以下の4つのプログラム要素を用いてデザインされます。

- ① Tグループ・セッション (対話による非構成のグループ体験)
- ② 実習教材を用いた構成的グループ体験
- ③ モデルや理論の紹介による概念化を促進するミニレクチャー
- ④ チェックリストやふりかえり用紙を用いたツールの使用

Tグループ・セッションでは、特に決められた課題や手続きはなく、参加者は自由に対話を続け、その場に生まれてくる人間関係 (プロセス) を学習の素材として探求します。その過程で、自己理解、他者理解、受容、共感、影響関係、コミュニケーションやグループダイナミクスなど、人間関係のさまざまなことに気づき学んでいくことができます。

JIEL 主催のTグループは、歴史ある哲学と学習方法を踏襲し、伝統的な5泊6日の期間の実施にこだわり、「一人ひとりを尊重し、人々とのつながりが生まれ、共に生きること」を探求するラボラトリー・トレーニングの実現をめざしています。

Tグループは、私どものJIEL 公開講座のすべてのプログラムのコア・プログラムです。どのプログラムよりも先にご参加されることをおすすめします。

※このトレーニングでは、グループでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習の素材とするための同意書の提出が求められます。また、心的葛藤やストレスを経験することもありますので、現在身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方は、担当の医師やカウンセラーとご相談の上、お申し込みください。ご不明な点は当研究所にご相談ください。

※Tグループファシリテーター (トレーナー) の学びのステップを修了したとしても、必ずしもコ・ファシリテーターを体験することを確約するものではありません。



Tグループファシリテーター (トレーナー) を目指される方の学びのステップ

2017年度 JIEL 第5回 Tグループ

2017年6月3日～8日開催

<日程例>

6月3日(土)	6月4日(日)	6月5日(月)	6月6日(火)	6月7日(水)	6月8日(木)
7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30
8:30	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
9:00	T2 各グループ室	T6 各グループ室	T9 各グループ室	T12 各グループ室	チェックアウト
10:15	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	9:15 全体会(6) 「現場に向けて」
10:30	休憩	休憩	休憩	休憩	全体会室
11:00	T3 各グループ室	T7 各グループ室	T10 各グループ室	T13 各グループ室	11:00 閉会 全体会室
12:15	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	12:00 昼食
12:30	昼食	昼食	昼食	昼食	13:00 解散
14:00	自由	自由	自由	自由	14:00 全体会(5)-1 「Tグループのふりかえり」
14:30	15:00 開会 全体会(1) 「私の窓」	15:00 全体会(2) 「ペアでわかちあう」	15:00 全体会(3) 森の散策	14:00 全体会(4) 「私・グループの表現」	14:00 全体会(5)-1 「Tグループのふりかえり」
15:45	休憩	休憩	自由	自由	17:00 全体会(5)-2 「Tグループのふりかえり」
16:00	T4 各グループ室	17:00 自由	17:00 自由	17:00 自由	18:00 夕食
17:15	ふりかえり用紙記入	18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 夕食	19:15 全体会(5)-2 (つづき) 各グループ室
17:30	自由	19:15 T5 各グループ室	19:15 T8 各グループ室	19:15 T11 各グループ室	21:00 夜のつどい(5)
18:00	夕食	20:30 ふりかえり用紙記入	20:30 ふりかえり用紙記入	20:30 ふりかえり用紙記入	21:25 コミュニティアワー
19:15	T1 各グループ室	20:45 ふりかえり用紙記入	20:45 ふりかえり用紙記入	20:45 ふりかえり用紙記入	22:30
20:30	ふりかえり用紙記入	21:00 夜のつどい(1)	21:00 夜のつどい(2)	21:00 夜のつどい(3)	
20:50	21:00 夜のつどい(1)	21:00 夜のつどい(2)	21:00 夜のつどい(3)	21:00 夜のつどい(4)	
21:00	21:20	21:20	21:20	21:20	

参加者の声 (アンケートより)

Tグループ参加後:

- ・かかわりを持つことで、自分も成長できて、相手にも成長のきっかけを与えているということも気づきました。
- ・自分自身が大切にしたい価値観、人と人との関係性、かかわり方の癖に気づいた。
- ・人の輪にいながらの温かい感覚。人と向き合うことの難しさを学んだ。
- ・様々な価値観と環境の違うメンバーと共に過ごし、そこに生まれていく温かさと思いやり、認めあえる場ができ上がっていくことを1つ1つ体験することができ、日常にもおこせるんだと思いました

Tグループフォローアップ参加後:

- ・皆に会えること、ふりかえりのためにきちんと時間を取り、それを共有できることに価値があると感じた。
- ・これからの自分について考え、言葉などで表現する機会を得られた。3か月を経てのTグループとそのつながりの大きさを実感した。他者の意見が聞け、触発されるものがあった。
- ・意味づけをしていたつもりでしたが、グループでふりかえることで新たなTグループの影響に気づかされました。

Tグループは、私たちが豊かな社会生活を送るために必要な、感受性や人間関係づくりの資質を磨くことができる最良の場の1つです。キャリアコンサルタントは、個人のキャリア発達を支援する専門家であり、言い換えれば、1人ひとりのクライアントが、より充実した人生を送るための手伝いをする存在ですが、だからこそ、まずは自分自身が「人に関わる力」をしっかりと養う必要があります。多くのキャリアコンサルタント、キャリア開発支援者が参加されることを願っています。

キャリアコンサルティング技能士会 副代表幹事 文川 実



看護師は、患者・家族さん、院内外が多職種とコミュニケーションなしでは、成立しない仕事です。難しい場面も多く、現場をよくする+αはないか、とTグループに参加しました。

初めて出会う仲間と、対話し、観察し、仮説を立て、振り返りを続けました。それを続けていくことは、苦痛でもあり、驚きや発見もあり、時に楽しく、不思議な時間でした。見えてきたのは、“自分のありよう”です。気持ちや出した言葉、態度は、他者に影響を与え、自分に戻ってきます。Tグループを終え、“対応する人や集団がどのような状況か”、“私自身はどうなのか”を問い続け、Tの学びを思い出しながら、個と場と“いま、ここ”を大切に、臨床で働いています。

看護師・助産師（母性看護専門看護師）峰 博子



「特に目的や目標を設定したり、ファシリテーターが特別何かをしているようには見えないのに、どうしてこんなに個人の深い声が出たり、関係性の質が大きく変化するんだろう!?!?」  
コーチングやファシリテーション等、様々な事を学んできた私でも、いわゆる非構成のTグループ体験は衝撃的で、その直後から、“人や関係性や場”の見え方や感じ方が格段に変わりました。

ファシリテーターや研修講師、システムコーチやチームコーチやプロセスワーカーなど、一度に複数の人に関わったり、場を創ったり、組織を支援する方、全員一度は純粋な参加者としてTグループ体験することを強く強くお勧めします。

組織開発ファシリテーター/システムコーチ 石井 宏明



私はエンジニアとしてメーカーに勤務するサラリーマンです。私がTグループ体験から学んだことは、普段の仕事の中では見過ごされていることや大切に扱われていないことに、関心をもつことの大切さです。

日々、人とのかかわりの中で仕事を行い、「今、ここにいる自分自身の気持ちに気づくこと」、「今、目の前にいる相手の想いや気持ちに寄り添うこと」、「今、目の前にいる相手と自分との関係の中で起きていることに気づくこと」、「仕事の成果だけでなく、そのプロセスにも目を向けること」を意識するようになりました。多くの人がTグループに参加することで、それぞれの会社の中で今よりも一人一人がイキイキと働けるようになることを願っています。

会社員 エンジニア 秋山 善克



1990年代後半から長期にわたって継続された、環境庁自然保護局自然ふれあい推進室（当時）の自然解説担当者養成研修、文部省生涯学習局（当時）自然体験指導者養成研修のプログラムに体験学習法が紹介、導入されてから、環境教育、野外教育の分野からのTグループ受講者が続きました。アクティビティを用いたプログラムづくりに体験学習法が効果的であることと、教育担当者にとって、体験学習法を効果的に用いるためには、Tグループの受講が望ましいことと受けとめられ、伝わっていったからと思われま。

過去、この分野から、Tグループに参加して、グループプロセスの何たるかを理解し、プロセスへの介入の仕方に関心をもった方々が、ファシリテーター養成研修に参加され、現時点でも、各現場で活躍中です。

聖マーガレット生涯教育研究所所長 西田 真哉



南短ニカン(南山短期大学人間関係科の略)時代に受けたTグループでの体験は未消化のまま、敢えて整理するでもなくそのままあの時のあの感覚を40年近く連れて歩いてきました。2016年6月Tグループに再び参加し、人との関わりの中で自分の生の気持ちや思い、ふっと出た行動を自分自身が受けとめることが如何に大切か。また受けとめることの難しさが身にしみて痛かった。2回のTグループでの体験で、私という存在、あり様を常に問われているのだと感じています。私が学びたかったものは何かの方法では決してなく、自分を毎日の生活の中で活かすことから人との関わりが始まると信じる心のようなものです。そして今、私は、森のようちえんの子ども達、家族を介護する人達を支援したいと動いています。

主婦 ボランティアとして活動中 園木 紀子



第8回 Tグループ（人間関係トレーニング）

日程	2018年6月2日(土) 14:00 受付、14:30 開始 5泊6日 7日(木) 13:00 終了(清里駅行きバス 13:30 出発)
担当者	Tグループ・フォローアップ 2018年9月9日(日) 10:00~16:00 ヒューマンコラボレーションセンター HCC
定員	津村俊充、川喜田好恵 他
会場	18名
参加費	(財) KEEP 協会 清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-2111
滞在費	受講料：84,000円(税込) 70,000円(税込)(予定)(ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む) 89,000円(税込)(予定)(シングル利用：宿泊・食事・会場費含む)

第9回 Tグループ（人間関係トレーニング）

日程	2018年8月17日(金) 14:00 受付、14:30 開始 5泊6日 22日(水) 13:00 終了
担当者	Tグループ・フォローアップ 2018年11月11日(日) 10:00~16:00 ヒューマンコラボレーションセンター HCC
定員	津村俊充、高橋紀子 他
会場	18名
参加費	南山学園研修センター 〒460-0934 名古屋市昭和区広路町隼人 30 (地下鉄いりなか駅から徒歩6分) TEL 052-837-6466
滞在費	受講料：84,000円(税込) 50,000円(税込)(予定)(全室シングル利用：宿泊・食事・会場費含む) ※本施設は、南山学園の研修所です。基本的にはバス・トイレは共用です。

第10回 Tグループ（人間関係トレーニング）

日程	2019年2月9日(土) 14:00 受付、14:30 開始 5泊6日 14日(木) 13:00 終了(清里駅行きバス 13:30 出発)
担当者	Tグループ・フォローアップ 2019年5月12日(日) 10:00~16:00 ヒューマンコラボレーションセンター HCC
定員	津村俊充 他
会場	18名
参加費	(財) KEEP 協会 清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-2111
滞在費	受講料：84,000円(税込) 70,000円(税込)(予定)(ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む) 89,000円(税込)(予定)(シングル利用：宿泊・食事・会場費含む)

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

ファシリテーター養成講座 ～Tグループなど非構成的グループ・ファシリテーション～

第4回 Tグループファシリテーター・トレーニング

Tグループ（5泊6日）の参加経験のある方を対象とした、Tグループファシリテーター（トレーナーと呼びます）を体験しながら、Tグループのファシリテーションのありようを学ぶトレーニングです。

このトレーニングの中心的なプログラムは、参加者がTグループファシリテーター（トレーナー）役、オブザーバー役、メンバー役を交代しながら、Tグループ体験を積み重ねていきます。1セッション終了ごとに、ふりかえりセッションを行います。ふりかえりセッションでは、グループのプロセスを分かち合い、トレーナーの言動を中心にトレーナー自身の内省やオブザーバーの観察のデータも活用し、またトレーナーの言動からのメンバーが受けた影響などを共有しながら、グループ体験から学ぶファシリテーションや、自分自身のグループへの働きかけの特徴などについてお互いに学びを深めていきます。

役割をもったグループ・セッションとふりかえりセッションを通して、トレーナーはもろのこことグループの一人のメンバーとして、グループをどのように観たか、トレーナーが何を大切にしたい働きかけか、またその他の選択肢には他にどのようなものがあるのか、メンバー一人ひとりの成長やグループの成長に気づき、働きかける視点と技能、そしてトレーナーとして大切にしたい人間観、グループ観、学習観を学んでいきます。

グループ・セッションとともにファシリテーションにかかわる概念的な理解を深めるための全体会プログラムも予定されています。

このようなことを目指している方にお勧めします

- ・個人やグループの成長に関心があり、なんらかの貢献をしたいと思っている人
- ・会社や学級・学校などの組織の文化や風土を変えたいと考えている人
- ・人とかかわる上でプロセスを観察すること、働きかけることを学びたい人
- ・チェンジ・エージェントとして様々なコミュニティづくりや人間関係づくりに取り組むことに関心がある人 など

※このトレーニングでは、グループでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習の素材とするための同意書の提出が求められます。また、心的葛藤やストレスを経験することもありますので、現在身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方は、担当の医師やカウンセラーとご相談の上、お申し込みください。ご不明な点は当研究所にご相談ください。

参加者の声（アンケートより）

- ・メンバーと深く出会うことによって、その人を知り、自分の有様を知らず知らずふりかえり、気がつけば、今まで嫌だった自分、矛盾した自分、いろいろな思いに揺れ動く自分のまらごとで生きていい気がつくことができました。
- ・自分のグループへのかかわり方を通じて、自分の人間関係へのアプローチに気づかされる経験を得ました。Tグループに対する経験値が異なる方がいたのも良かったです。
- ・メンバー同士で学び、プログラムからも学び、清里の自然にも教えてもらい、最高の体験でした。
- ・人と真剣に関わること＝人を信じることを確信することができました。日常では、薄らいでいく、自分の核を磨くことを続けたい。
- ・トレーナーとしての視点は、Tグループ以外のあらゆるトレーニングに応用できると感じたのでとても有意義だった。
- ・ファシリテーターの技術としても、自己理解という意味でも学ぶことが多かった。
- ・スタッフの方のオブザーバーの視点からのコメントも気づかされるが多かったし、グループにも多様な視点があり、参加者の具体的なかかわりから得るものが多かった。
- ・頭でわかっていることでも、無意識の中でできていないことが多くある。体験の中で指摘フィードバックしてもらうことで気づき腹落ちすることが多くあった。
- ・ファシリトとして言うよりも、対人、対組織支援者として、またそれ以上に人としての人間観を見つめ直せたのが良かった。

2017年度 JIEL第3回Tグループファシリテーター・トレーニング

<日程例> 2017年12月2日～6日開催

	12月2日 (土)	12月3日 (日)	12月4日 (月)	12月5日 (火)	12月6日 (水)
7:30		朝食	朝食	朝食	朝食
8:30	モーニングセッション①		モーニングセッション②	モーニングセッション③	モーニングセッション④
9:00	TTS2	全体会(2) 「トレーナーの人間観」	TTS7	全体会(5-1) 「気づき・学びを用いたモデルづくり」	
9:50	ふりかえり用紙記入		ふりかえり用紙記入		
10:20	フィードバック・タイム		フィードバック・タイム		
11:20		「役割決め」			
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13:00	自由	自由	自由	自由	自由
13:30					
14:00	受付		全体会(3) 「グループダイナミクスへの働きかけについて」	TTS8	全体会(5-2)
14:30	開会			ふりかえり用紙記入	全体会(6) 「現場に向けて」
	全体会(1) 「ねらいづくり」 「TTSの進め方」 「役割決め」	TTS3	TTS5	フィードバック・タイム	
		ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	休憩	
		フィードバック・タイム	フィードバック・タイム	全体会(4-1) 「全体のふりかえり」	
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
19:00	TTS1	TTS4	TTS6	全体会(4-2) 「全体のふりかえり」	
19:50	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入		
20:20	フィードバック・タイム	フィードバック・タイム	フィードバック・タイム	ナイトショートセッション④	
21:20	ナイトショートセッション①	ナイトショートセッション②	ナイトショートセッション③	コミュニティアワー	
21:45	ジャーナル記入	ジャーナル記入	ジャーナル記入		

※TTSとは、「トレーナー・トレーニング・セッション」の略称です。TTSではTグループを行い、メンバー、トレーナー、オブザーバーを相互に体験し、ふりかえり用紙の記入とフィードバックを行います。

第4回 Tグループファシリテーター・トレーニング

日程	2018年12月8日(土) 14:00 受付、14:30 開始 4泊5日 12日(水) 16:00 終了
担当者	津村俊充、川喜田好恵、石井宏明 他
定員	16名
会場	(財)KEEP協会 清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-2111
参加費	受講料：78,000円(税込)
滞在費	58,000円(税込)(予定)(ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む) 75,000円(税込)(予定)(シングル利用：宿泊・食事・会場費含む)

※本講座は、5泊6日のTグループ（人間関係トレーニング）に参加されていることを参加の基礎資格とさせていただきます。

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

公開講座  
体験学習基礎講座

人間関係づくり  
基礎講座

コアプログラム講座  
Tグループ

ファシリテーター養成講座  
非構成的グループ・ファシリテーション

ファシリテーター養成講座  
実践・実習実務による

ファシリテーター養成講座  
ファシリテーター養成講座  
のファシリテーション

ワークショップ  
共通のつながり

基礎講座  
A1アプローチ

A1アプローチ講座  
A1アプローチ講座

ESD講座  
ESDプロシエクト

交流から学ぶ  
体験学習実践研究

DVD教材  
みんなのミレニウム32講

受託研修  
受講申込

年間スケジュール

ファシリテーター養成講座 ～実習実施によるグループ・ファシリテーション～

第4回チーム診断コンサルティング ※これまでの「プログラム・デザイナー・トレーニング」の深化版

本講座は、Tグループなどグループワークによる「ラボラトリー方式の体験学習」を学ばれた方が、さらに「ラボラトリー方式の体験学習」についての理解を深めると共に、チームや組織の変革のために実習といった活動により働きかける力を育成することをめざした講座です。

相互にチームに関するデータをインタビューやオブザーブなどにより収集し分析することによって相手チームの状況を把握します。その後、チームの状況を診断し、相手チームの成長の可能性を考え、そのための目標を設定して、適切な実習体験（構成的グループ体験とよびます）を提供します。その結果を、クライアントであるチームも、実施者も双方が評価し、さらなる成長のためのプログラムの可能性を考える講座です。

本講座では、教育プログラム（研修や授業）の実施に際し、一連のプログラム設計（デザイン）の基本的な考え方やすすめ方、またデザインされた実習プログラムの実施について、体験を通して学ぶことを目的としています。

講座の前半の2日間は、一連のチーム診断の流れについて理解した上で、相手チームのデータ収集と診断を行います。3日目に、相手チームの変化/成長のための目標を設定し、その実現に向けてのプログラムのデザインをします。4日目に、プログラムの相互実施を行い、プログラムのデザインと実施の仕方に関するフィードバックを行い、プログラムデザインに関する理解を深めます。最終日には、本講座の学びをもう一度整理し、現場に向けて、参加者一人ひとりの応用実践のための課題を考える予定です。

講座のねらいとしては、次のようなものがあげられます。

組織の開発・グループの発達・一人ひとりの成長をめざして

- 体験学習や学習者参加型の教育に対する理解を深める
- データを収集し、分析し、プログラム化する体験をする
- 体験学習のプログラムをつくり、実施し、ファシリテーションする力を養う
- 現場での体験学習の応用を考え、体験学習や学習者参加型の教育に対する理解を深める
- 学習を共に楽しむ



第4回 チーム診断コンサルティング

日程	2019年3月1日（金）10:00 受付、10:30 開始 4泊5日 5日（火）16:00 終了
担当者	津村 俊充、林 芳孝
定員	15名
会場	南山学園研修センター 〒460-0934 名古屋市昭和区広路町隼人30（地下鉄いりなか駅から徒歩6分）TEL 052-837-6466
参加費	受講料：78,000円（税込） 滞在費：43,000円（税込）（予定）（宿泊費、食費、会場費を含む）

※本講座は、Tグループ（人間関係トレーニング）などに参加されていることをおすすめします。  
※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。  
※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

2017年度 JIEL第3回プログラムデザイナー・トレーニング日程表

2017年9月16日（土）		2017年9月17日（日）		2017年9月18日（月）		2017年9月19日（火）		2017年9月20日（水）	
7:30	朝食	7:30	朝食	7:30	朝食	7:30	朝食	7:30	朝食
9:00	グループ内チェックイン	9:00	グループ内チェックイン	9:00	グループ内チェックイン	9:00	プログラム実施準備	9:00	チェックアウト
9:30	◎「相手を知る」② ・インタビュー	◎「相手を知る」② ・インタビュー	◎「相手を知る」② ・インタビュー	◎「相手を知る」② ・インタビュー	◎「相手を知る」② ・インタビュー	◎「相手を知る」② ・インタビュー	◎「相手を知る」② ・インタビュー	◎「相手を知る」② ・インタビュー	◎「相手を知る」② ・インタビュー
9:50	休憩	9:50	休憩	9:50	休憩	9:50	休憩	9:50	休憩
10:00	受付	10:00	◎小講義「グループプロセス」 ・グループでの話し合い	10:00	◎小講義「グループプロセス」 ・グループでの話し合い	10:00	◎「プログラム実施」① ・プログラムの実施	10:00	◎「相互フィードバック」 ・ふりかえり用紙記入 ・わかちあい ・グループのクロージング
10:30	開会	10:30	◎「ねらいづくり」 ○実習 ○小講義 「コンテンツとプロセス」 「体験学習の循環過程」 ○グループング	10:30	◎「ねらいづくり」 ○実習 ○小講義 「コンテンツとプロセス」 「体験学習の循環過程」 ○グループング	10:30	◎「ねらいづくり」 ○実習 ○小講義 「コンテンツとプロセス」 「体験学習の循環過程」 ○グループング	10:30	◎「ねらいづくり」 ○実習 ○小講義 「コンテンツとプロセス」 「体験学習の循環過程」 ○グループング
12:00	昼食	12:00	昼食	12:00	昼食	12:00	昼食	12:00	昼食
13:00	◎「チームづくり」① ○実習「名画鑑賞」	13:00	◎追加インタビュー ・インタビュー項目の検討 ・インタビューの実施	13:00	◎「プログラムデザイン」②	13:00	プログラムの実施準備	13:00	◎「現場に向けて」
14:15	休憩	14:15	◎「相手チームを分析する」 ① ・チームの特徴と課題	14:15	◎「相手チームを分析する」 ① ・チームの特徴と課題	14:15	◎「相手チームを分析する」 ① ・チームの特徴と課題	14:15	◎「相手チームを分析する」 ① ・チームの特徴と課題
14:30	◎「チームづくり」② ○実習「ハイポイントインタビュー」	14:30	◎「チームづくり」② ○実習「ハイポイントインタビュー」	14:30	◎「チームづくり」② ○実習「ハイポイントインタビュー」	14:30	◎「チームづくり」② ○実習「ハイポイントインタビュー」	14:30	◎「チームづくり」② ○実習「ハイポイントインタビュー」
16:00	休憩	16:00	休憩	16:00	休憩	16:00	休憩	16:00	休憩
16:15	◎「ストーリーの共有と ふりかえり」	16:15	◎「ストーリーの共有と ふりかえり」	16:15	◎「ストーリーの共有と ふりかえり」	16:15	◎「ストーリーの共有と ふりかえり」	16:15	◎「ストーリーの共有と ふりかえり」
17:15	(自由時間)	17:15	(自由時間)	17:15	(自由時間)	17:15	(自由時間)	17:15	(自由時間)
18:00	夕食	18:00	夕食	18:00	夕食	18:00	夕食	18:00	夕食
19:00	◎「プログラムデザインの 流れ」○一連の流れ、Q&A	19:00	◎「相手チームを分析する」 ② ・プレゼンテーション ・Q&A ・ペアでインタビュー	19:00	◎「プログラムデザイン」③	19:00	◎「グループの発達」 ・スタッフグループのヒストリー ・ギブの懸念のグラフ ・自分たちの歩み ・プレゼンテーション	19:00	◎「グループの発達」 ・スタッフグループのヒストリー ・ギブの懸念のグラフ ・自分たちの歩み ・プレゼンテーション
19:30	◎「相手チームを知る」① ○インタビュー項目 の検討・決定	19:30	◎「相手チームを知る」① ○インタビュー項目 の検討・決定	19:30	◎「相手チームを知る」① ○インタビュー項目 の検討・決定	19:30	◎「相手チームを知る」① ○インタビュー項目 の検討・決定	19:30	◎「相手チームを知る」① ○インタビュー項目 の検討・決定
21:00		21:00		21:00		21:00	◎「相手チームを知る」① ○インタビュー項目 の検討・決定	21:00	◎「相手チームを知る」① ○インタビュー項目 の検討・決定

グループセッション  
全体セッション

参加者の声（アンケートより）

- ・ 参加して出会ったメンバーの数と一緒に過ごした日数の分、たくさんの意味が見つかった。
- ・ プログラム作りにおいて、自分に意識として足りなかったものを見つけることができ、具体的に考えることができた。
- ・ デザイン段階の知見を業務（組織開発）に活かせると感じた。
- ・ 自己理解が深まるなど、持ち帰って使える「お宝」がある様々な経験ができました。
- ・ これからのプログラムデザイナー・ファシリテーターとしての活動に活用していきます。

公開講座

ラボラトリー  
体験学習基礎講座

人間関係づくり  
基礎講座

コア  
Tグループ  
講座

講座  
「非構成的グループ  
ファシリテーション」

講座  
「ファシリテーター養成  
講座」

## ファシリテーター養成講座 ～プロジェクトチームへのファシリテーション～

### 第4回グループプロセス・コンサルティング

#### ～コンサルタントとしてチームをファシリテーションする～

今日の社会の中にあつて、IT技術の進歩やグローバル化に伴い組織の変化、またさまざまな雇用形態からのダイバーシティ（多様性）をもったチームや組織の運営の難しさを感じている方が多いのではないのでしょうか？

従来の階層構造的な組織運営の中にあつては、指揮命令を明確にすること—それに従うメンバーを育てることで、業務の効率化を目指していました。しかし、今は機能していた構造が壊れ、それぞれのアイデアを生かしコミュニケーションを豊かにして、クリエイティビティ（創造性）を高める創発グループのマネジメントが求められています。いわゆる自律型組織です。そうした活動を支援する専門家として、グループプロセス・コンサルタントの働きが重要になります。

さまざまな領域におけるプロジェクトチームに対して、そのチーム活動を活性化するための働きかけができるグループプロセス・コンサルタントに光があたりつつあります。

この講座では、チーム活動のメンバーとは異なるメンバー（外部者）として、チームに関わり、とりわけグループのプロセスに働きかけるファシリテーションを学ぶことを目指しています。

ねらいとしては、下記のようなことを考えています。

- チームの中での人間関係（グループプロセス）を観る視点をもつとともに、実際に気づくことができる感受性を高める。とりわけ、タスクプロセスとメンテナンスプロセスの理解と働きかけに焦点を当てる。
- チームや他のメンバーに与えている自分の影響に気づく。
- チームやメンバーの成長に向けて働きかける視点やスキルを養う。

※ W. Brendan Reddy 著「INTERVENTION SKILLS: Process Consultation for Small Groups and Teams」をテキストとして使用します。  
 ※ 本講座の参加に際して、JIEL主催のTグループやラボラトリー体験学習の基礎講座を修了されていることが望ましいと考えています。

### 第4回グループプロセス・コンサルティング

日程	2018年11月23日（金）9:30 受付 10:00 開始 4泊5日 夜もプログラムが予定されています 27日（火）17:00 終了
担当者	津村 俊充
定員	20名
会場	南山学園研修センター 〒460-0934 名古屋市昭和区広路町集人30（地下鉄いりなか駅から徒歩6分） TEL052-837-6466
参加費	受講料：78,000円（税込） 滞在費：50,000円（税込）（予定）（宿泊費、食費、会場費を含む）

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

#### 参加者の声（アンケートより）

- ・ グループがどのように成長していくのか、それに自分はどう貢献できるのか考えることができた。
- ・ コンサルタントとしての関わりと、メンバーとしての関わりについて、自分の選択肢が増えたと、プロセスの変化を感じることができた。
- ・ 改めて日頃のファシリテーション場面をふりかえり、検討するためのデータを多く得られた。
- ・ 前回のグループプロセス・ファシリテーター・トレーニングから引き続いていたことやその他の疑問や違和感が、スルスルとつながって、パズルのように見えたこともあり、よかった。
- ・ 組織の中の支援者としてのスキルを磨くためのプログラムでした。
- ・ メンバーからのフィードバックをもらうことで、プロセスを見ているようで見ていない自分に気づくことができた。

## JIEL ワークショップ

### 第2回共感でつながるアサーション

#### ～感情とニーズに寄り添う自己表現～

この講座ではアサーション（自己表現）の方法として、マーシャル・B・ローゼンバーグ博士によるNVC（Nonviolent Communication）の考え方を学び、グループでの演習を通じて自分や他者の感情に注目し、その背景にあるお互いが必要とするもの（ニーズ）を尊重しあえるような問いかけや応答、語りを試みます。

感情に寄り添い、必要としていること（ニーズ）に気づいたときに人はつながりを実感できます。自分とつながり、他者ともつながるための表現を体験から学び合ひましょう。

2日間を通じて、感情に向き合い、自分自身と対話したり、他者のニーズを推測して確認したりすることから、その人が感じていること、必要としていることを共に感じよう、知ろうとする共感的な働きかけを体験できます。

このようなつながりを生み出す働きかけの媒介になるのは、主に言葉であり、言語表現を通じて自分や他者の捉え方が次第にクリアになっていきます。

#### このようなことを目指している方にお勧めします

- ・ NVCを学びたい人
- ・ 「感情」の動きに関心のある人
- ・ 攻撃的なコミュニケーション、反射的なコミュニケーションを回避したい人
- ・ 言葉の背景にある真意を表現したい人
- ・ 共感的に理解しあえる人間関係を築きたい人など



### 第2回共感でつながるアサーション

日程	2018年12月15日（土）10:00～18:00 16日（日）10:00～18:00
担当者	水野節子、國武 恵
定員	16名
会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	21,600円（税込）両日参加して頂く必要があります

#### 参加者の声（アンケートより）

- ・ NVCを知れて、人をさらに好きになれそうだなと思いました。コミュニケーションは難しいけれど、貴いものだなあと新しい肝ができました。
- ・ 感情、行動の奥深いところには、何かがあるのか、モヤモヤとしていたので、それがニーズというものであることがわり、すっきりした。
- ・ 自分の心の中を自分で見ることができた気がする。相手に心から共感することができた。
- ・ 自分の気持ちに気づきにくいことが悩みで、もどかしく、自分に正直でないと感じていましたが、自分との向き合い方を学んだことで、これからは気づいていけそうです。

## JIEL ワークショップ

### 第5回・第6回 AI アプローチ基礎講座～4D サイクルを体験し学ぶ～

Appreciative Inquiry(AI)とは、個人、グループ、組織といったシステムの中に現在もっている「生き生き輝くエネルギーを与える力(Life-giving forces)(ポジティブ・コア)を見つけ出すことからはじめ、個人、グループ、組織の変革をめざすアプローチです。ポジティブ・コアを探求し、そのポジティブ・コアが最大化された未来(夢)を描き、その実現に向けてメンバー相互に協働的なかかわりが生まれる、参加型のアプローチです。

この講座では、AIとはどのようなものを体験を通して学ぶとともに、参加者みなさんが現場でどのように活かしているか探っていきたくと考えています。特に、できる限り、4Dサイクルを体験する生の現場に、講座の場になることを願っています。そのために、学びが持続する学習共同体(ラーニングコミュニティ)を創りたいという意思のある方にお集まりいただきたいと思っています。合宿研修で行いますので、参加者同士の交流も深まる得がたい機会になるでしょう。また、これまでの本講座に参加されたみなさまは、その後もAIアプローチ実践研究会として学びの場を継続しています。

#### おおまかなプログラムの流れ

一日目		二日目	
10:00	導入：研修のねらいの確認・生活の案内 「OD(組織開発)とは」「AIアプローチとは」	9:00	DREAM(1) 最高の未来像のインタビュー DREAM(2) コミュニティの未来を表現 DREAM(3) プレゼン&全体で共有
12:00	DISCOVERY(1) ハイポイントインタビュー	12:00	昼食
	昼食	13:00	DESIGN(1) エレメントの探究 DESIGN(2) 喚起的声明文の作成 DESTINY 声明文を創ったグループでプロジェクトを考える 全体のふりかえり
13:00	DISCOVERY(2) ストーリーの共有 DISCOVERY(3) 私たちのポジティブコアの探求	17:00	
18:00	夕食		
19:00	交流会		
21:00			

※本講座の参加に際して、JIELのTグループ(人間関係トレーニング)を修了されている方におすすめします。

参考テキストを挙げておきます。

※ポジティブ・チェンジ 主体性と組織力を高めるAI  
ダイアナ・ホイットニー&アマンダ・トロステンブルーム(著) 高間邦男(監訳)ヒューマンバリュー(2006)

※AI「最高の瞬間」を引き出す組織開発 未来志向の“問いかけ”が会社を救う  
デビッド・L・クーパーライダー&ダイアナ・ウィットニー(著)本間正人(監訳)PHP研究所(2006)

	第5回 AI アプローチ基礎講座 ～4D サイクルを体験し学ぶ～	第6回 AI アプローチ基礎講座 ～4D サイクルを体験し学ぶ～
日程	2018年9月15日(土)9:30受付 10:00開始 1泊2日 9月16日(日)17:00終了	2019年1月26日(土)9:30受付 10:00開始 1泊2日 1月27日(日)17:00終了
担当者	津村 俊充、大塚 弥生	津村 俊充、大塚 弥生
定員	16名	24名
会場	南山学園研修センター 〒460-0934 名古屋市昭和区広路町隼人30(地下鉄いりなか駅から徒歩6分) TEL052-837-6466	
参加費	受講料：32,400円(税込) 滞在費：10,000円(税込)(予定)(宿泊費、食費、会場費を含む)	

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただけます。また、グループワーク体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。  
※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少変更があるかもしれません。

#### 参加者の声(アンケートより)

- AIの一連の体験・体感でき、新しい出会い、つながりができた。
- AIの構造や進め方というより本当の部分がわかった気がします。
- AIの知識、体験のみならず、たくさんの人の価値観や思いに触られた。
- 勉強したというより、人生経験を高めることができたという感じ。

## JIEL ワークショップ

### 第3回 AI アプローチアドバンス講座

#### ～アプリーシエイティブ・リーダーシップを学ぶ～

本講座はJIEL主催のAIアプローチ基礎講座に参加された方を対象にしたアドバンス講座です。

津村が2016年より「AIアプローチ」をベースに、リーダーシップ研修を東京女子医科大学の看護師対象に、3泊4日を実施しているプログラムをベースにアプリーシエイティブ・リーダーシップについて紹介しながら、アプリーシエイティブ・リーダーシップ養成のプログラムを体験していただきます。

#### おおまかなプログラムの流れ

1. 導入：プログラムの概略の説明→グループ分け
2. グループ内のメンバー相互に「ハイポイントインタビュー」→ポジティブコアの共有
3. グループでポジティブコアの探求
4. POPO：他チームの活動の観察&インタビュー
5. 他チームの可能性の探究→プレゼンテーション
6. 組織実習「グリーティングカード」
7. 自分の課題(問題)の価値の反転→活動の宣言

ご参加に際し、ご自身の現場でのリーダーとしての課題や問題をもってきていただくことをお願いします。  
参考テキストは、下記の書籍です。前もってお読みいただくことも、学びを促進することになると思います。

※なぜ、あのリーダーの職場は明るいのか?—ポジティブ・パワーを引き出す5つの思考法 単行本(ソフトカバー)  
ダイアナ・ホイットニー(著),アマンダ・トロステン=ブルーム(著)日本経済新聞出版社

#### 第3回アプリーシエイティブ・リーダーシップ講座

日程	2019年3月15日(金)10:00受付 10:30開始 2泊3日 3月17日(日)17:00終了
担当者	津村 俊充
定員	16名
会場	南山学園研修センター 〒460-0934 名古屋市昭和区広路町隼人30(地下鉄いりなか駅から徒歩6分) TEL052-837-6466
参加費	受講料：43,200円(税込) 滞在費：20,000円(税込)(予定)(宿泊費、食費、会場費を含む)

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただけます。また、グループワーク体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。  
※滞在費は、現在、施設と交渉中です。多少変更があるかもしれません。

#### 参加者の声(アンケートより)

- AIの講座も良かったが、アプリーシエイティブリーダーを育てていく方が組織を変えていくのには効果的だった。
- 言葉が未来を創ることをあらため確認できた。
- ペアインタビューからはじまってPOPO、チーム診断、新しい実習「グリーティングカード」と盛りだくさんの内容の1つ1つに今の自分を「ふりかえる」ことができて、意味があった。
- AIの課題、自分の傾向など、起きていることに実際に向き合えた。
- アプリーシエイティブ・リーダーシップ講座の仕組み、鍵になるポイント、難しいパートがわかった。

## ESD スペシャリスト育成プロジェクト

## 第2回 ESD スペシャリスト育成講座

～未来を創る次世代の人たちを育てる～

日本体験学習研究所（JIEL）は、共に生きる社会をめざし、人間尊重を基盤として、人間関係やチームづくり、組織開発、ファシリテーター養成講座などのプログラムの開発と実施を続けています。その学びの核が「ラボラトリー方式の体験学習」。自ら学び、人と人とが体験しながらつながる学習法です。

ESD がめざし、育もうとしているものは、「人間の尊重」、「多様性の尊重」などの価値観、体系的な思考力、批判力、分析能力、コミュニケーション能力、リーダーシップの向上です。主体的に学び、行動する力の育成を実践してきている私たち JIEL の理念や活動は、ESD、ひいては SDGs (持続可能な開発目標 = Sustainable Development Goals) への到達と重なり、つながっています。



持続可能な開発のための教育（ESD）の更なる推進に向けて～学校等で ESD を実践されている皆様へのメッセージ～（平成 29 年 9 月、日本ユネスコ国内委員会教育小委員会）にある図を基に ESD 活動支援センターが作成。

## ESD スペシャリストとは

- ESD を実施したいと考えている人材の育成を行う人
- ESD の理念、考え、価値観、知識などを広める人
- ESD を行うためのプログラムやシステムをつくる人
- ESD にかかわるプロジェクトを立ち上げる人
- ESD にかかわる人や組織をつなぐネットワークをつくる人
- ESD に携わる人や団体を支援する人、もしくは団体

私たち JIEL からのメッセージ  
～願いと期待

ESD 実践者スペシャリストの育成は、現状の ESD の課題を解決していくためばかりではありません。私たちはどのような未来を創るのか、どのような未来を子どもたちに引き継ぐのか、それを共に考え、共に行動に移していくことをめざしています。

講座は全 7 回で全体設計をしています。各回単科での参加も可能ですが、学びの効果を最大化するためにも全回を通して受講されることがおすすめです。

## こんな人にぜひ

- 現在、ESD 活動に携わっていて、さらに知見を増やしたい人
- 現在取り組んでいる ESD 活動を見直したい人、再確認したい人
- 学校教育等で ESD が求められ、これから実施を考えている人
- ESD にかかわるファシリテーション・スキルを高めたい人
- ESD のプログラム開発力を高めたい人
- 次世代の ESD 実践者の育成をしたいと考えている人
- 他の ESD 実践者とのネットワークやパートナーシップづくりをしたい人
- よりよい未来を共に描く構想力を高めたい人
- ESD に興味や関心のある人、ESD とはなにかを学びたい人
- 今を憂い、未来のためになにかしたいと思っている人

## 第1回講座「ESD の考え方、方法論を学ぶ」

日程	2018年7月21日(土) 13:30～16:30
参加人数	30名
講師	(財)KEEP協会 環境教育事業部 主席研究員 増田 直広氏
会場	当研究所拠点「ヒューマンコラボレーションセンター」(名古屋市天白区)
単科参加費	3,240円(税込)
内容	ESDの核となる考え方や、ESDで育成したい人物像、具体的な手法について学ぶ

## 第2回講座「実践者の声を聴き、対話する」

日程	2018年8月5日(日) 10:00～17:00
参加人数	20名
講師	元ユニー(株)業務本部 CSR部長 百瀬則子氏、教育セミナー講師 若杉逸平氏、環境レンジャー 半田俊彦氏、他
会場	当研究所拠点「ヒューマンコラボレーションセンター」(名古屋市天白区)
単科参加費	8,640円(税込)
内容	環境、教育、企業などの現場で実践されている ESD 実践者に現場での「実際」や「次世代の ESD 実践者育成に求められるもの」などの話を聴き、ESD の現状とこれからの対話を通して多面的な気づきと実践者同士のつながりを得る

## 第3回講座「実践者とプログラムを作り、体験する」

日程	2018年8月25日(土)13:30開始 26日(日)15:30終了(合宿形式)
参加人数	15名
講師	(財)KEEP協会 環境教育事業部 事業部長 鳥屋尾 健氏
会場	(財)KEEP協会 清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-2111
単科参加費	21,600円(税込)(滞在費は実費負担)
内容	ESD の実際や実施されているプログラムを肌で感じる体験をする

第4回講座  
「『体験から学ぶ』を学ぶ～ラボラトリー方式の体験学習とは～」

日程	2018年9月22日(土) 10:00～17:00
参加人数	15名
講師	日本体験学習研究所 代表理事/南山大学名誉教授 津村俊充
会場	当研究所拠点「ヒューマンコラボレーションセンター」(名古屋市天白区)
単科参加費	8,640円(税込)
内容	「体験学習の基本知識」「人間関係づくりのファシリテーション」について、学術的・専門的に理論面を学び、実習で体感することを通して、自ら行ってきたことの本質を知り、伝えられるようになる

全 7 回まとめて申し込みでの受講参加費：54,000 円（税込）※

※参加者の都合や関心に応えるため、各回単科での参加もできますが、全 7 回の講座を通して学びの効果を最大化し、受講参加費も安くなります。全 7 回の受講をお勧めします。

※全 7 回参加の方には修了証をお渡しします。

## 第5回講座「自分を知り参加者メンバーで未来を描く」

日程	2018年10月20日(土)10:00開始 21日(日)17:00終了(合宿形式)
参加人数	15名
講師	日本体験学習研究所 代表理事/南山大学名誉教授 津村俊充
会場	南山学園研修センター (名古屋市昭和区)
単科参加費	21,600円(税込)(滞在費は実費負担)
内容	自らのこれまでの活動をふりかえり、自分を知り、参加者のメンバーと共通の目指すべき未来像を描き、それを実現するための活動を考える

## 第6回講座「これまでの活動とふりかえり、実践プランを共有する」

日程	2018年11月10日(土) 13:30～16:30
参加人数	15名
講師	JIEL 研究員
会場	当研究所拠点「ヒューマンコラボレーションセンター」(名古屋市天白区)
単科参加費	3,240円(税込)
内容	第5回までの学びを活かし、参加者一人ひとりの取り組む課題を明確にし、実践のプログラムデザインを発表し合いながら、相互研鑽をする

## 第7回講座「講座プログラム企画発表会 &amp; 相互フィードバック」

日程	2019年1月12日(土) 13:30～16:30
参加人数	受講者 15名 + 一般参加者(10名)
講師	これまでの講座の講師(増田 直広氏、他)
会場	当研究所拠点「ヒューマンコラボレーションセンター」(名古屋市天白区)
単科参加費	3,240円(税込)
内容	第6回講座でつくった ESD スペシャリスト育成プログラムを参加者・講師・ESD に関心を持つ一般参加者の前でプレゼンテーションし、実際に活用するためのフィードバックを得る

※ JIEL は、地域 ESD 活動推進拠点として、ESD 活動支援センターより平成 29 年 12 月 13 日付(通知)にて、全国第 0003 号として登録されました。

ラボラトリー  
体験学習基礎講座人間関係づくり  
基礎講座①②③コアプログラム  
D グループ講師  
ファシリテーター養成  
講座(非構成グループ)講師  
ファシリテーター養成  
講座(実践者による)講師  
ファシリテーター養成  
講座(実践者による)講師  
ファシリテーター養成  
講座(実践者による)講師  
ファシリテーター養成  
講座(実践者による)講師  
ファシリテーター養成  
講座(実践者による)講師  
ESD スペシャリスト  
育成プロジェクト講師  
ラーニングカフェ  
体験学習実践研究会講師  
ミレニアル世代  
32歳

受託研修

受講申込

年間  
スケジュール

## 交流から学ぶ ラーニングカフェ FOR CHANGE

### ラーニングカフェ FOR CHANGE とは

日本体験学習研究所 (JIEL) では、実験的・冒険的試みとして、地域の人々に対話の場を提供して、参加者のみなさまが今考えている関心事や問題を話し合いながら、どのようなことがそれらの関心事に潜んでいるのかを共有し、共通理解を生まれる場を創ってみることにしました。古くは、1950年頃より、R. リピットをはじめ多くのラボラトリー体験学習開発の研究者も実施されてきたようです。

参加する上で必要な資格は特にありません。ただ来られる方は、ともに語り合うことを喜びと感じ、他者のために探求する時間とアイデアを惜しまないボランティア精神を発揮し、また話し合っている事柄 (コンテンツ) とありよう (プロセス) にともに責任をもっていたただけることを願っています。

このラーニングカフェ FOR CHANGE では、対話のテーマや手法を私どもから提供いたします。事前にフェイスブックやホームページで告知をしますので、ご確認ください。関心をもたれましたら、開始時間にお気軽に会場のHCCに足をお運びください。ご参加をお待ちしています。

### 2018年度のラーニングカフェ FOR CHANGE の開催予定日 (各回とも 19:00 ~ 21:30)

第1回	2018年 4月20日 (金)	第5回	9月12日 (水)	第9回	2019年 1月23日 (水)
第2回	5月16日 (水)	第6回	10月19日 (金)	第10回	2月15日 (金)
第3回	6月15日 (金)	第7回	11月21日 (水)	第11回	3月20日 (水)
第4回	7月18日 (水)	第8回	12月21日 (金)		

会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	1,000円 (税込) (茶菓代 & 1ドリンク付き) ※参加費は当日会場でお支払いください

## 交流から学ぶ 体験学習実践研究会

### 体験学習実践研究会とは

この研究会では、さまざまな領域で人と関わる力の育成に関心をもつ人々に集まっていただき、『体験学習』のための実習教材の体験をしたり、研修教材の開発やプログラムの設計・展開に関する討論を行いたいと考えています。

学校における教育者は、教科教育のありようを考えるとともに、学習者-教育者関係、学習者関係、教師間のチーム活動におけるグループダイナミクスなどの“関係そのもの”をいかに扱うことができるかが大きな課題です。今日、生徒同士の人間関係づくりやキャリア教育などで自己理解のための授業展開も教師に求められています。

また、企業内教育においても「リーダーシップ」、「ファシリテーション」など組織やチーム力を向上させるための体験学習を用いたセミナーが開かれています。

医療・看護の領域では、看護医療関係者のチーム力、ひいては人間関係力の養成の必要性が喫緊の課題になっています。各県の看護協会の研修テーマには、「リーダーシップ」、「コミュニケーション力」、「グループ・マネジメント」、「ファシリテーター養成」、「ファシリテーション」などをテーマに教育・研修が行われています。

### 2018年度の体験学習実践研究会の開催予定日 (各回とも 13:30 ~ 16:30 / 12月1日のみ 13:30 ~ 17:30)

第1回	2018年 5月19日 (土)	参加資格	人間関係力の育成や人間関係づくりに関心をおもちの方、特に「体験」を通して学びの場を創ることに関心をおもちの方ならどなたでも参加できます。(不明な場合は、お問い合わせください)
第2回	6月16日 (土)		
第3回	7月14日 (土)		
第4回	9月8日 (土)		
第5回	10月13日 (日)	会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
第6回	12月1日 (土)		
第7回	2019年 2月16日 (土)		
参加費		1,000円 (税込) ※参加費は当日会場でお支払いください	

## 書齋で学ぶ「つんつんのミニレクチャー 32講」 動画 DVD 完成!!

ラボラトリー方式の体験学習の基本的な考え方を伝える動画を作成しました。体験だけの学習に終わらないために、体験後の内省と気づきの概念化が大切です。その手助けになるのが、認知地図 (cognitive map) です。体験学習参加者の皆様に、ホットな体験とクールな概念をこの動画を通してつなげていただくと幸いです。



### つんつんのミニレクチャー 全4巻

企画・著作・出演 津村 俊充 (JIEL 代表理事・所長)  
撮影・制作 津村 勇一郎 (ツムラオフィス)  
定 価 全4巻セット 下記価格表参照  
発 行 2017年1月1日

ラボラトリー方式の体験学習に関わる基本的な考え方を、4つのジャンル『ラボラトリー教育基礎編』、『コミュニケーションとグループ編』、『ファシリテーター編』、『Tグループ編』に分け、計32本の動画にまとめました。

ラボラトリー方式の体験学習を用いた「人間関係づくりファシリテーション」の実践を行われている方、さまざまな領域の教育や組織開発に関わる方は必携です。

#### 第1巻 ラボラトリー教育基礎編

「人間関係づくりファシリテーション：人間関係とは」  
「ラボラトリー方式の体験学習とは」  
「ラボラトリー体験学習から学ぶために」  
「関係を観る視点：コンテンツとプロセス (個人レベル)」  
「ジョハリの窓 (The Johari Window) に学ぶ」  
「フィードバックを受け与える」  
「グループの意思決定のスタイル：コンセンサス」  
「社会的相互作用の循環過程」

#### 第2巻 コミュニケーションとグループ編

「コミュニケーションのプロセスモデル」  
「コミュニケーションの障害要因は」  
「コミュニケーションの働きと聴くこと」  
「グループの中で何を観るか」  
「グループの発達：ギブの懸念モデル」  
「グループの発達：シュッツの理論」  
「グループの発達：タックマンモデル」  
「K.レヴィンの変化モデル：ギブの懸念を活用する」  
「リーダーシップ研究の流れ」

#### 第3巻 ファシリテーター編

「体験学習のふりかえりとファシリテーターの働き」  
「コルブモデルの体験学習のステップと期待される効果」  
「体験学習のステップを多面的に考える」  
「実習教材を用いたファシリテーションガイドライン」  
「2つのプロセスに働きかけるファシリテーター」  
「E.シャインのORJIモデル」  
「W.B.レディのプロセスコンサルタントの働きかけ」  
「教育者養成に向けての視点とアプローチ」

#### 第4巻 Tグループ編

「Tグループの誕生と日本における変遷」  
「Tグループの変化：誕生から今日」  
「Tグループと対話型OD」  
「K.レヴィンの人間観」  
「TグループとBEGとの比較」  
「エントリーとリエントリー」  
「グループワークがもたらす効果」

### 「つんつんのミニレクチャー」DVD全4巻 販売価格 (すべて他に消費税がかかります)

個人の学習のために利用	JIEL 主催研修に参加	個人支払い (領収書個人名)	16,000円
	JIEL 主催研修未参加	個人支払い (領収書個人名)	32,000円
研修時に再生利用	JIEL 主催研修会参加にかかわらず	個人・法人・企業にかかわらず	64,000円
		個人・法人・企業にかかわらず	640,000円

※ 複製および営利目的での動画のご使用はかたくお断りします。

※ JIEL 主催研修にご参加いただいた方に限らせていただきます。

ラボラトリー  
体験学習基礎講座

人間関係づくり  
基礎講座

コア  
Tグループ  
講座

講座  
ファシリテーター  
養成講座

## 受託研修（コンサルテーション）

日本体験学習研究所（JIEL）では、学校教育現場、企業など組織内研修、看護医療現場での医療従事者の研修など幅広いジャンルの現場から研修依頼をいただき、各機関のご要望にお応えしています。これまでコミュニケーション、グループワーク、チームづくり、組織開発など人間関係から生み出されるグループダイナミクスを活かす研修を提供し、ご好評をいただいています。さまざまな機関のご要望を聞き取り、ニーズにあったオリジナルのプログラムのデザイン・実施から、それぞれの機関の変革のためのコンサルテーションまでご相談・ご依頼をお引き受けしています。

研修・ご相談についてのご質問、ご依頼は、まずはお気軽に JIEL 公式サイトよりお問い合わせください。

JIEL  
公式サイト  
hTtp://www.jiel.jp

### 2017 年度研修（コンサルテーション）実績（順不同）

依頼機関	受託研修プログラムタイトル
愛知県立大学	認定看護師教育課程「がん化学療法看護」：「ファシリテーション」講座、「アサーティブコミュニケーション」講座
愛知県立大学	認定看護師教育課程「がん性疼痛看護」：「ファシリテーション」講座、「アサーティブコミュニケーション」講座
一宮市教育センター	一宮市夏季集中研修講座「いじめ未然防止のアサーション講習会」 一宮市いじめ対策主任者会「いじめ未然防止のアサーション・トレーニング」
京都府私立幼稚園連盟	京都府私立幼稚園連盟新規採用教員研修第 1 回「憧れの先生への第一歩を仲間と共に踏み出す」、第 7 回「協力して仕事をするとき大切な考え方や行動に気づく」
荒子小学校	家庭教育セミナー～親と子どもの上手なコミュニケーションの取り方
国立長寿医療研究センター	リーダーレベルⅡ～リーダーシップ
産業カウンセラー協会中部支部	グループファシリテーション
産業カウンセラー協会東関東支部（千葉）（松戸）（市川）（ひたちなか）	平成 29 年度産業カウンセラー養成講座～コミュニケーションの理論と活用
小牧市教育委員会	小牧市教育委員会 夏季教員研修
新城市教務校務主任者会	新城市教務校務研究会「アサーション入門～私もあなたも大切にできるコミュニケーション」
中村区地域女性活動促進事業実行委員会・中村区役所	中村区地域女性活動促進事業「女性の集い」第一部「アサーション入門」
特定非営利活動法人生涯学習ネットワーク中部	生涯学習相談員ボランティア養成講座「聴くこと」と「コミュニケーションとは～価値観について」2 日間
独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ	リーダーシップ
日本福祉大学（さわらび会）	管理者研修～ハラスメントのない職場を目指して
日本福祉大学（よつ葉の会）（昭徳会）	コミュニケーション研修
日本福祉大学（愛知県老人福祉施設協議会）	スキルアップ研修「コミュニケーション」
日本福祉大学（社会福祉法人さわらび会）	クレーム対応について
日本福祉大学（社会福祉法人よつ葉の会）	クレーム対応研修
日本福祉大学（春日井市）	介護に必要な救急対応
北海道青少年教育施設協議会事業委員会	北海道青少年教育施設協議会職員研修会「体験から学ぶ」
北名古屋総務部市民活動推進課	グループワークによる人間関係づくり～個人やグループの成長を目指して
名古屋医療センター	リーダーシップ
名古屋市教育委員会	平成 29 年度名古屋市女性学習活動研究委託事業リーダー研修会「学びのつどい」 生涯学習ボランティア研修会「講師としての魅力を高めるコミュニケーションスキル」
名古屋市教育委員会（熱田生涯学習センター）	<女性セミナー>「アサーティブコミュニケーションを身につける～自分も相手も大切にできる私に～」
名古屋市消防局消防学校	幹部教育幹部科昇任課程「リーダーシップ」 幹部教育幹部科昇進第 1 課程「リーダーシップ」
名古屋市北区自立支援連絡協議会	アンガーマネジメント入門講座、マインドフルネス入門講座
名古屋市立西福田小学校	家庭教育セミナー～アサーションで親子のコミュニケーション力アップ
名古屋市立沢上中学校	現職教員研修「よりよい人間関係づくり」第 1 回・第 2 回
名古屋市立東山小学校	家庭教育セミナー～幸せ親子のコミュニケーション講座「アサーション」
依頼機関	研修プログラム監修・コンサルテーション
株式会社 NTT データユニバーシティ	課長～部長層のヒューマンスキル研修
エルイーシー合同会社	ラインケア研修「一人ひとりが元気で働ける職場づくりを目指して～グループワークとストレスチェックの結果から～」監修
国土交通省大阪航空局中部空港事務所	航空管制官のためのアサーティブコミュニケーション研修

## 受講申込

### [1] 受講申込

#### お申込方法

基本的には WEB ページから申込みをお願いします。  
※ WEB ページが難しい場合には、FAX（052-804-1889）にてお申込みください。

JIEL  
公式サイト  
hTtp://www.jiel.jp

#### お申込後の講座参加者の変更

公平を期すために、個人名での申込のみとさせていただきます。  
団体名での申込及び申込後の参加者の変更はお断りしています。

### [2] 受講料の振込

- ①原則 E-mail にて振込依頼を送付いたします。記載されている受講料を指定の銀行口座へお振込ください。
- ②期日内にご入金を確認できない場合は、キャンセルされたものとみなしますので、ご注意ください。

#### <振込先>

三菱東京 UFJ 銀行 平針支店（店番 095）  
（普通）口座番号 0159782  
名義「一般社団法人日本体験学習研究所 代表理事 津村俊充」

#### もしくは

郵便局普通口座  
記号（12180）番号（26757301）  
名義：シヤ）ニホンタイケンガクシュウケンキュウジョ

### [3] 受講案内

受講料の入金確認後、原則 E-mail にて受講案内等をお送りします。振込後、1 週間以内に届かない場合はご連絡をください。

### [4] 開講日

- ①各講座の日程に合わせて、指定の会場までお越しください。講座ごとに、開講日、時間、会場は異なります。お間違いのないよう充分にご確認ください。
- ②テキストの必要な講座は、初日に受付にて販売いたします。

### [5] キャンセル連絡とキャンセル料について

	受講料入金後の場合	受講料の 20%（各講座上限 1 万円）＋振込手数料
当研究所受付日が	講座開始 10 日前～3 日前の場合	受講料の 50%＋振込手数料
	講座開始 2 日前～当日の場合	受講料の全額（返金なし）

注 1：受講をキャンセルされる場合は、早急にご連絡をください。当研究所事務受付時間外に E-mail、またはファックスにてキャンセル連絡をいただいた場合は、翌事務受付日扱いでキャンセル処理をいたします。あらかじめご了承ください。

注 2：宿泊講座の滞在費については、各宿泊施設のキャンセルポリシーに基づきご返金対応をいたします。

### [6] 講座の中止について

申込者が規定の人数に満たない場合、天候や自然災害、交通事情などの影響のある場合、担当講師の避けられない事情が発生した場合、開講を中止することがあります。

当研究所の理由により講座を中止する場合は、入金された受講料を全額ご返金いたします。

2018年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		2019年1月		2月		3月	
1 日		1 火		1 金		1 日	第10回体験学習基礎講座(北海道)	1 水		1 土		1 月		1 木		1 土	体験学習実践研究会⑥(HCC)	1 火	元日	1 金		1 金	第4回チーム診断C(いりなか)
2 月		2 水		2 土	第8回Tグループ(清里)	2 月		2 木		2 日		2 火		2 金		2 日	実践人間関係づくり基礎①⑩(HCC)	2 水		2 土	第13回体験学習基礎講座(福岡)	2 土	第4回チーム診断C(いりなか)
3 火		3 木	憲法記念日	3 日	第8回Tグループ(清里)	3 火		3 金		3 月		3 水		3 土	文化の日 第12回体験学習基礎講座(広島) 実践人間関係づくり基礎④⑤(HCC)	3 月		3 木		3 日	第13回体験学習基礎講座(福岡)	3 日	第4回チーム診断C(いりなか)
4 水		4 金	みどりの日	4 月	第8回Tグループ(清里)	4 水		4 土		4 火		4 木		4 日	第12回体験学習基礎講座(広島) 実践人間関係づくり基礎⑥⑦(HCC)	4 火		4 金		4 月		4 月	第4回チーム診断C(いりなか)
5 木		5 土	こどもの日	5 火	第8回Tグループ(清里)	5 木		5 日	ESD講座②(HCC)	5 水		5 金		5 月		5 水		5 土		5 火		5 火	第4回チーム診断C(いりなか)
6 金		6 日		6 水	第8回Tグループ(清里)	6 金		6 月		6 木		6 土		6 火		6 木		6 日		6 水		6 水	
7 土		7 月		7 木	第8回Tグループ(清里)	7 土		7 火		7 金		7 日		7 水		7 金		7 月		7 木		7 木	
8 日		8 火		8 金		8 日		8 水		8 土	体験学習実践研究会④(HCC)	8 月	体育の日	8 木		8 土	第4回Tグループファシリテータートレーニング(清里)	8 火		8 金		8 金	
9 月		9 水		9 土		9 月		9 木		9 日	第8回Tグループフォローアップ(HCC)	9 火		9 金		9 日	第4回Tグループファシリテータートレーニング(清里)	9 水		9 土	第10回Tグループ(清里)	9 土	9 土
10 火		10 木		10 日		10 火		10 金		10 月		10 水		10 土	ESD講座⑥(HCC)	10 月	第4回Tグループファシリテータートレーニング(清里)	10 木		10 日	第10回Tグループ(清里)	10 日	10 日
11 水		11 金		11 月		11 水		11 土	山の日	11 火		11 木		11 日	第9回Tグループフォローアップ(HCC)	11 火	第4回Tグループファシリテータートレーニング(清里)	11 金		11 月	建国記念の日 第10回Tグループ(清里)	11 月	11 月
12 木		12 土		12 火		12 木		12 日		12 水	ラーニングカフェ⑤(HCC)	12 金		12 月		12 水	第4回Tグループファシリテータートレーニング(清里)	12 土	ESD講座⑦(HCC)	12 火	第10回Tグループ(清里)	12 火	12 火
13 金		13 日	第7回Tグループフォローアップ(HCC)	13 水		13 金		13 月		13 木		13 土	体験学習実践研究会⑤(HCC)	13 火		13 木		13 日		13 水	第10回Tグループ(清里)	13 水	13 水
14 土		14 月		14 木		14 土	体験学習実践研究会③(HCC)	14 火		14 金		14 日	AIアプローチ実践研究会⑨(HCC)	14 水		14 金		14 月	成人の日	14 木	第10回Tグループ(清里)	14 木	14 木
15 日		15 火		15 金	ラーニングカフェ③(HCC)	15 日		15 水		15 土	第5回AIアプローチ基礎講座(いりなか)	15 月		15 木		15 土	第2回共感アサシオン(HCC)	15 火		15 金	ラーニングカフェ⑥(HCC)	15 金	第3回アプリシエイティブリーダーシップ(HCC)
16 月		16 水	ラーニングカフェ②(HCC)	16 土	体験学習実践研究会②(HCC)	16 月	海の日	16 木		16 日	第5回AIアプローチ基礎講座(いりなか)	16 火		16 金		16 日	第2回共感アサシオン(HCC)	16 水		16 土	体験学習実践研究会⑦(HCC)	16 土	第3回アプリシエイティブリーダーシップ(HCC)
17 火		17 木		17 日		17 火		17 金	第9回Tグループ(いりなか)	17 月	敬老の日	17 水		17 土	実践人間関係づくり基礎⑧⑨(HCC)	17 月		17 木		17 日		17 日	第3回アプリシエイティブリーダーシップ(HCC)
18 水		18 金		18 月		18 水	ラーニングカフェ④(HCC)	18 土	第9回Tグループ(いりなか)	18 火		18 木		18 日	実践人間関係づくり基礎⑩⑪(HCC)	18 火		18 金		18 月		18 月	18 月
19 木		19 土	体験学習実践研究会①(HCC)	19 火		19 木		19 日	第9回Tグループ(いりなか)	19 水		19 金	ラーニングカフェ⑥(HCC)	19 月		19 水		19 土		19 火		19 火	19 火
20 金	ラーニングカフェ①(HCC)	20 日	AIアプローチ実践研究会⑦(HCC)	20 水		20 金		20 月	第9回Tグループ(いりなか)	20 木		20 土	ESD講座⑤(いりなか)	20 火		20 木		20 日		20 水		20 水	ラーニングカフェ⑩
21 土		21 月		21 木		21 土	ESD講座①(HCC)	21 火	第9回Tグループ(いりなか)	21 金		21 日	ESD講座⑤(いりなか)	21 水	ラーニングカフェ⑦(HCC)	21 金	ラーニングカフェ⑧(HCC)	21 月		21 木		21 木	春分の日
22 日		22 火		22 金		22 日	AIアプローチ実践研究会⑧(HCC)	22 水	第9回Tグループ(いりなか)	22 土	ESD講座④(HCC)	22 月		22 木		22 土		22 火		22 金		22 金	22 金
23 月		23 水		23 土	日体研第19回全国大会(南山大学)	23 月		23 木		23 日	秋分の日	23 火		23 金	勤労感謝の日 第4回GPC(いりなか)	23 日	天皇誕生日	23 水	ラーニングカフェ⑨(HCC)	23 土		23 土	23 土
24 火		24 木		24 日	日体研第19回全国大会(南山大学)	24 火		24 金		24 月	振替休日	24 水		24 土	第4回GPC(いりなか)	24 月	振替休日	24 木		24 日		24 日	24 日
25 水		25 金		25 月		25 水		25 土	ESD講座③(清里)	25 火		25 木		25 日	第4回GPC(いりなか)	25 火		25 金		25 月		25 月	25 月
26 木		26 土	第9回体験学習基礎講座(HCC)	26 火		26 木		26 日	ESD講座③(清里)	26 水		26 金		26 月	第4回GPC(いりなか)	26 水		26 土	第6回AIアプローチ講座(いりなか)	26 火		26 火	26 火
27 金		27 日	第9回体験学習基礎講座(HCC)	27 水		27 金		27 月		27 木		27 土		27 火	第4回GPC(いりなか)	27 木		27 日	第6回AIアプローチ講座(いりなか)	27 水		27 水	27 水
28 土	第3回春まつり(清里)	28 月		28 木		28 土	第11回体験学習基礎講座(東京)	28 火		28 金		28 日	実践人間関係づくり基礎②③(HCC)	28 水		28 金		28 月		28 木		28 木	28 木
29 日	昭和の日 第3回春まつり(清里)	29 火		29 金		29 日	第11回体験学習基礎講座(東京)	29 水		29 土		29 月		29 木		29 土		29 火		29 金		29 金	29 金
30 月	振替休日 第3回春まつり(清里)	30 水		30 土	第10回体験学習基礎講座(北海道)	30 月		30 水		30 日		30 火		30 金	AIアプローチ全国大会前夜祭	30 日		30 水		30 水		30 土	30 土
31 火		31 木		31 日		31 火		31 木		31 水		31 土		31 月		31 日		31 木		31 木		31 日	31 日

ラボラトリー 体験学習基礎講座	公開講座
人間関係づくり 基礎講座⑫講	
コアプログラム講座 Tグループ	
講師(非構成グループ)・ ファシリテーション	ファシリテーター養成 講座(非構成グループ)・ ファシリテーション
講師(構成グループ)による ファシリテーション	ファシリテーター養成 講座(構成グループ)による ファシリテーション
講師(非構成グループ)による ファシリテーション	ファシリテーター養成 講座(非構成グループ)による ファシリテーション
共通のつながる アサシオン	ワークショップ
基礎講座	AIアプローチ
アドバンス講座	アドバンス講座
ESDプロシキリスト 育成プロジェクト	ESD講座
体験学習実践研究会	交流から学ぶ ラーニングカフェ
ミレニウムの 32講	DVD教材
	受講研修
	受講申込
	年間スケジュール

## ● 日本体験学習研究所(JIEL)とは

日本体験学習研究所(JIEL)では、1947年K.レヴィンたちにより人間関係の理解と改善のために開発された「ラボラトリー方式の体験学習」の基礎的な研究とさまざまなフィールド(学校教育、企業組織、看護医療、国際協力など)における応用実践研究を行っています。

ラボラトリー方式の体験学習とは、「人と人が特別に設計された関わる場において、“今ここ”での参加者の体験を素材(データ)として、人間や人間関係を参加者とファシリテーターとがともに実験的に探求する学習」です(津村,2009)。

K.レヴィンの思想を継承し、現代の社会のニーズに応えること、特に人間関係に関わる諸問題の解決とともに、人間が本来持つ可能性と潜在能力を探求し、社会の変革を目指すデザインと実践ができるファシリテーターとして私たちが活動し、研究やプログラムを提供して、さまざまなフィールドで活動する人々がそうしたファシリテーターになれるための支援をしています。

これらの活動を通して、ラボラトリー方式の体験学習の普及と共に生きる社会の創造をめざしています。

※JIELとは、Japan Institute for Experiential Learning の略称です

## ● 沿革

- 2006年 愛知県防災局の研修を受託するために任意団体として日本体験学習研究所を設立。
- 2012年 「プロセス・エデュケーションー学びを支援するファシリテーションの理論と実際」津村俊充著(金子書房)を出版。
- 2013年 「実践人間関係づくりファシリテーション」日本体験学習研究所監修(金子書房)を出版。
- 2015年 一般社団法人「日本体験学習研究所(Japan Institute for Experiential Learning: JIEL)」を設立。
- 2017年 ESDスペシャリスト養成プロジェクト開始。地域ESD活動推進拠点として登録。

## ● NTLとは

1946年夏の米国コネティカット州で開かれたワークショップ後、1947年にメイン州ベセルにて全米教育協会(National Education Association)や大学のいくつかの研究機関の協力のもとで「集団発達に関するナショナル・トレーニング・ラボラトリー(National Training Laboratories in Group Development: NTLGD)」を開催したのがNTLのはじまりです。1963年まで全米教育協会の成人教育部門の教育機能を果たし、1967年にNTL Institute for Applied Behavioral Scienceと名称を変更し非営利組織として運営されてきています。

また、ラボラトリー方式の体験学習のコアプログラムとして70年ほどの長い間、Tグループを実施してきています。そのほかに、リーダーシップ開発やジェンダーやダイバーシティにかかわるワークショップ、組織開発に関わる多数のプログラムを開催しているラボラトリー教育の歴史ある機関です。

JIELの代表理事・所長である津村は、日本人としては初めてNTLのインターナショナルメンバーとして認定されて、日本でラボラトリー方式の体験学習の普及に努めています。



一般社団法人  
日本体験学習研究所

代表理事・所長：津村 俊充

〒468-0015 名古屋市天白区原1丁目2304  
ライオンズマンション原102 HCC内  
(地下鉄鶴舞線「原」駅1番出口)

電話&FAX (052) 804-1889

e-mail desk@jiel.jp

Website <http://www.jiel.jp>

### ◆地下鉄で来られる場合◆

地下鉄「原」駅の1番出口が最寄りとなります。第三銀行のあるスクランブル交差点を右折し道なりに進み、原郵便局の先を左折したところにある、レンガ色のライオンズマンション原の1Fです。

2番出口から出られた場合は、ファミリーマート沿いに進み、すぐに左折し直進すると原郵便局のある三叉路に出ます。

